

第43回 みなとスポーツフォーラム 「2019年ラグビーワールドカップに向けて」

日時: 2014年5月15日、19時～20時30分

会場: 港区男女平等センター5階ホール

テーマ: 「新国立競技場プラン」

講師: 山崎 雅男 氏(独立行政法人日本スポーツ振興センター新国立競技場設置本部長)

◆参加報告◆

「みなとスポーツフォーラムは、公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団と公益財団法人日本ラグビーフットボール協会の共催で、日本でラグビーワールドカップが開催される2019年までに100回のフォーラムを実施し、ワールドカップへのムーブメントの喚起だけでなく、広く世界規模のスポーツイベントに関わった方を講師に招くことで「見るスポーツ」「するスポーツ」のみならず「支えるスポーツ」への参加機会の提供を目指すフォーラムです。

神宮外苑と国立競技場を未来に手わたす会からは4名が参加し、フォーラムは、講演45分、元ラグビー松瀬学氏との対談30分、休憩後、回収した質問への応答が10分という構成でした。

赤字は、当会の感想、疑問です。

◆山崎氏の講演◆

○テーマが「新国立競技場プラン」でしたが、山崎氏によると基本設計は、まだ発表できるところに至っていないとのことで、目新しい情報はなく、招致プログラムのCGを使っただけの説明にとどまりました。

○国立競技場をイベント会場に使ったのは、1996年の三大テノールのコンサートが最初。入場数の1位は1964年の東京オリンピック閉会式で8万人弱(立ち席、ベンチなどで今より入場者数は多い)2位はオリンピック開会式で75000人弱、3位は1982年の関東ラグビー早明戦で67000人、4位は1958年のアジア大会開会式55000人強、5位が1985年1月のラグビー決勝。

○2012年デザインコンペでは46作品が集まり、7割は海外から応募。2015年秋までに実施設計を完了。スケジュールはタイトだが、2019年9月のラグビーワールドカップ開催には間に合わせたい。

○また、開閉式屋根は文化イベントが収益のメインなので外せない。8万人と世界水準のホスピタリティーはオリンピック・パラリンピック招致の約束。また新国立競技場新設は、トラックが8レーンないとか国際基準を満たしていない、老朽化、耐震性能がないことの3つが理由とのこと。

⇒耐震性に問題があるというのは大きな疑問。

であるなら、「SAYONARA 国立」スタジアムツアーや音楽イベントなどは観客の危険を顧みずに開催しているのでしょうか。

○これまでのラグビーワールドカップ等の会場になった世界のスタジアムをPPTで紹介。ホスピタリ

ティ機能(レストラン・ホテル)の説明に時間を割いていました。また、紹介されたスタジアムの3分の2は、観客席には屋根があっても、フィールド上には屋根が無く芝生がきれいでした。

⇒新国立競技場は高さ70メートル。開閉式屋根が開いても斜めに差し込む陽光は、観客席にあたり、芝生には届かない。太陽が真上にある短時間のみ芝生に陽光が差し込むわけだが、それでしっかり芝生は育つのでしょうか。

◆ラガー松瀬氏との対談◆

○松瀬学氏(元早稲田ラガー)によると、国際公約で天然芝は、サッカーは25mm～35mm、ラグビーは40mmだそうです。

Q いいスタジアムの条件とは 1、選手が使いやすい 2、観客が見やすい 3、50年先を見据えたオペレーションだと思うが 山崎さんの考えは？

A FIFAは観客席に屋根がないとダメ。そのため芝生のダメージを少なくするよう、なるべく光を入れるように検討している。選手に気持ちよく試合してもらえよう、入り口から高揚感を高めていくようなデザインを考えたい。

Q 太陽光は、どのように取り入れるのか

A 検討中

Q 屋根の開閉時間はどのくらいかかるのか？2,3時間かかるのか？

A 1時間程度だと思う。

Q 今までより見やすくなるのは何が違うのか？

A 陸上競技のトラックがあると、サッカー、ラグビーの観戦には遠すぎるので、座席は可動式にして近くで見られるようにする。

Q 可動式座席は問題ないのか

A 日本の技術なら問題ない。

Q 見やすいという点では、照明や電光掲示板の位置などはどうか

A オリンピックの照度は決められている。細かく検証しながら決めていく。

Q 国立競技場はアクセスのいい場所にあるが、8万人の避難経路は最も大事だと思うが検討したのか？

A 敷地が広くないので苦労しているが、8万人をさばける空間を確保できる。

Q トイレの問題は？

A 女性が多いイベント、男性が多いイベントにより、フレキシブルに対応できるようにする。一番厳しいFIFAの基準でやる。

Q 今の国立競技場には売店などの サービスエリアがなく外に買いに出ないといけないが どうなるのか

A コンコース内の飲食をしやすくする。レストランは 立体道路上にイベント、試合のないときでも使えるように設置。街の賑わいを創出する。観光名所にしてゆきたい。パリのエッフェル塔は作る前は反対されたが 100年たったら 名所になった。

◆質問票への回答◆

Q 周りの環境とどう調和させるのか？

A みなさんからのご意見を受け、昨年末に風致地区を考慮し、コンパクトにした。周りの環境に馴染んだ植栽や色にし、イベントのない日も賑わいを創出する。

松瀬 ⇒これは大事な問題ですよね。

A 小さくしたが、批判は真摯に受け止める。

Q コストがかかりすぎるのではないか。

A 1692 億円内で収めるべく設計している。我々はもっとかかると思っていたが、政府内でも調整した。

Q 予算はどこが出すのか

A 国費支出と東京都にお願いし、あとは TOTO くじで賄う。

Q バリアフリー対応できるのか。

A 駅からのアクセスもバリアフリーにする。パラリンピックを想定し、身障者トイレやエレベーターの設置も考えている。

Q 芝の販売はあるのか

A 什器類、芝の販売を、さよならイベントで検討中

松瀬⇒厳しい意見がきているが、最後に山崎さんはどんなスタジアムにしたいのか。ここが良いんだということを聞かせて欲しい。

A イギリスには8万人規模のスタジアムが2つもあるのに日本にはない。夢のあるスタジアムにしたい。スポーツビジネスのショーケースにするとか、今あるスポーツ博物館も取り上げたい。

例えばコンコースにボルトの スピードを光で再現するとか、血圧の測れるトイレとか先端科学のショーケースのような 美しいスタジアムにしたいと 思っている。とにかく2019年のラグビー開会式にきちんと客が入り、きちんと帰るところを見届けたい。街全体で盛り上げてもらいたい。

⇒質問枚数が多く、残念ながら、当会メンバーからの質問は、取り上げられませんでした。

「新国立競技場プラン」に魅かれて参加しましたが、3月に終了するはずの基本設計などについて、経過も遅れた理由についても説明がなく、期待外れでした。